

# 緑の風

京都教育大学 環境教育実践センター 発行

第2号 2011年 6月6日

センタープロジェクト構想

センターの四季

センターの花々

スタッフから



センター農園全景

## 食とエネルギーの循環教育

### —地域と連携したセンターの新しいプロジェクトの構想—

環境教育実践センターでは、環境教育有機物リサイクルシステムを利用して、「食の循環」に関する教育を実施してきました。今回さらに「エネルギーの循環」も組み合わせた新しいプロジェクトを計画し、文科省に対して平成24年度の新規プロジェクトとして申請しました。採択されるかどうかは分かりませんが、その概略をご紹介します。

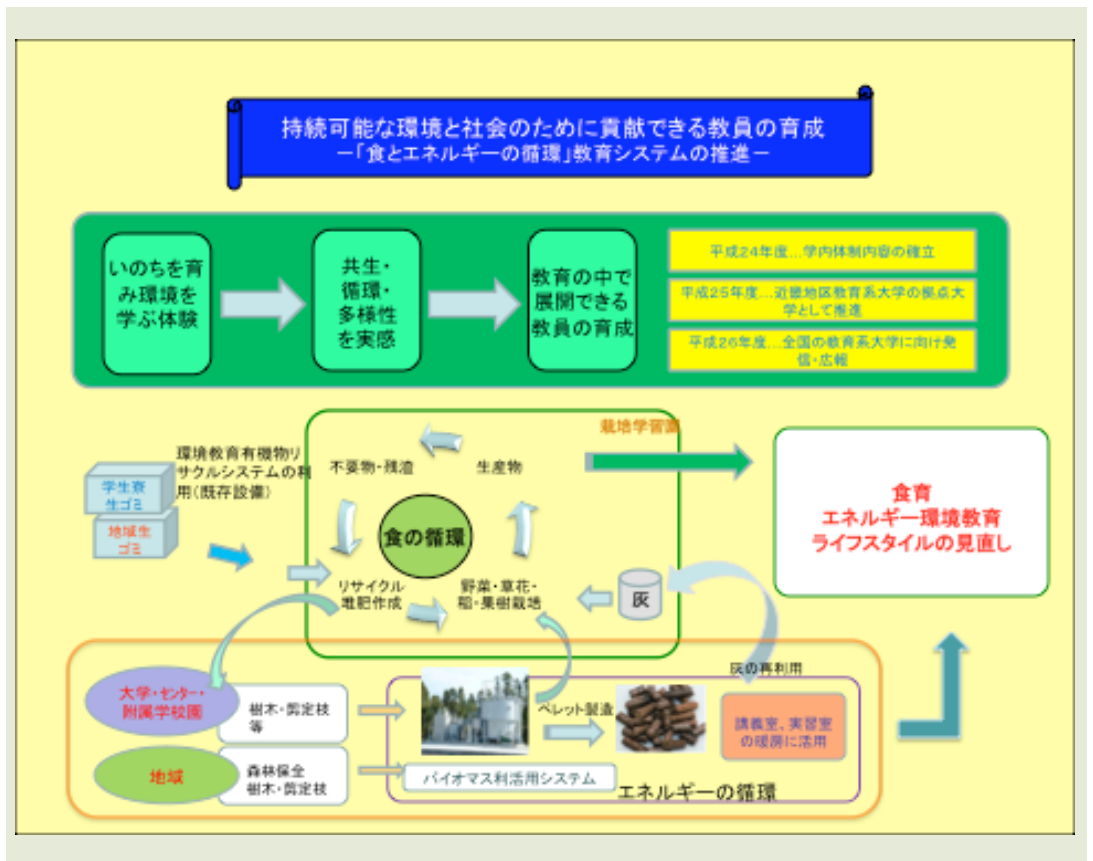
今回の東日本大震災によって、我が国はきわめて大きな被害を被りました。とりわけ福島第一原子力発電所の事故は、我が国のエネルギー政策の見直しを迫ることになりましたが、これは単に電力供給の問題にとどまらず、われわれのライフスタイルそのものを見つめ直すきっかけともなる大災害でした。こうした時に、将来教員となる学生達が、自然エネルギー利用を体験的に学ぶことを通して、市民とともに持続可能な環境や社会のあり方を検討していくことは、もっとも必要でかつ緊急な課題だと思われま

す。活動計画では、すでに導入されている「環境教育リサイクルシステム」の利用を促進し、家庭科教育の先生方と連携して「食の循環」教育を、現在以上に充実させていきます。

一方、木材などの廃棄有機物をペレット化する「バイオマス利活用システム」を新しく導入し、そこで生産されたペレットが、バイオマスエネルギーとして活用できることを体験学習し、同時にCO2削減にも寄与することや、燃焼灰が肥料として食糧生産にも活用できることを学びます。こうした

学習は、少なくとも教員養成大学では初めての試みです。

学習活動は、本学学生だけでなく、地域住民、NPOなど、様々な方々との連携を通して行われます。この活動を通して、環境問題や自らのライフスタイルについても再考できる市民や学生の育成に寄与したいと考えています。



## センターの四季

### 5月の農業実習



12日 稲の種まき、トマトの接ぎ木、イチゴの試食。

19日 トウモロコシ管理、アマリリス球根植え付け、朝顔の種まき。

26日 なす、ピーまん、甘唐辛子などの植え付け。キクの挿し木、緑のカーテン設置。



### 中学生のチャレンジ体験



### 「塊の会」の活動

左奥で鍬を担いでいるのは、田渕春三名誉教授。



## 附属幼稚園児によるジャガイモの管理



## センターの花々

今回は、センターにあるチェリーセージを紹介しつづけます。観賞用ハーブの一種で、強い芳香があります。春から秋まで咲き続け、挿し木で増やすことができます。センターに来られたら、どこにあるのか探してみましよう。

### ホットリップス

(*Salvia microphylla*) Hot Lips



メキシコ原産。Hot Lips とは、なんとも情熱的な名前である。花言葉を調べてみると、「燃ゆる想い」。編集子も、若かりし日々を想い出しながら、研究室のコップに水挿しして、発根するのを待っている。気温や季節により花色が様々に変化し、暑いと白く、涼しいと赤が多くなるようである。学名microphyllaは小さな葉の意味。

### グレッギー

(*Salvia greggii*) Autumn sage



Hot Lipsと同じ仲間、メキシコ原産。紫紅色の美しいセージ。英名(Autumn sage)とは異なる名前のチェリーセージで流通している。学名Greggiiは、19世紀の商人でかつ植物蒐集家であったJosiah Greggにちなむ。

## スタッフから

### 岡本正志

丹後での新しいプロジェクトを少しずつ進めています。同時に、科学技術と社会に関する内容を、科学教育の中にどのように持ち込むか、頭を悩ましています。

### 辻 俊夫

ここ数日前から田植えの準備に取り掛かっています。一番の難関は水田に水を張りトラクターで表土を均す代掻き(しろかき)という作業です。長年行っているのですが何年やっても思うように仕上げられません。もう少し平らに出来なかったかとか、盛り上がり場があったなあ、とか、毎回課題が残るのです。今年こそは綺麗に仕上げたいと思っているのですが、とにかく田植えに間に合うように頑張ります。

### 越智周作

すこし肌寒い日が続きますが！なんと、もお六月です。そのせいか、やっとブラシノキが咲きました。梅の実もまだ小梅のようです。今年は、何もかも遅れている様に思います。

## センター時暦

5月6日(金) 附属特別支援学校高等部 センター内水田の田起こし、高等部生徒30名と教員11名

5月12日(木) 京都市立西ノ京中学校「生き方探求・チャレンジ体験」2年生男子4名受け入れ、13、14、16、17日まで計5日間

5月14日(土) 公開講座「シリーズ環境を考える-自然とともに生きる-」始まる11月19日まで6回 市民23名受講

5月18日(水) 附属幼稚園5歳児親子ジャガイモの管理(除草、追肥、土寄せ、観察)

5月20日(金) 富良野自然塾林原副塾長、地球デザインスクール清水事務局長来訪。8月プログラム打ち合わせ

5月21日(土) 公開講座「小学生のための科学技術実験教室」始まる11月5日まで6回 小学生17名受講

5月23日(月) 文部科学省への概算要求(特別経費プロジェクト)のためのヒアリング

5月24日(火) 附属桃山小学校教育友会役員、サツマイモの苗、提供

5月25日(水) ボランティア「塊の会」活動 センター内清掃、除草、サツマイモ定植、他

5月30日(月) 京都市立小栗栖中学校「生き方探求・チャレンジ体験」2年生男子2名受け入れ、31、6月1、2、3日まで計5日間

## 編集後記

週末には甲賀に行って、古民家の修理と畑三昧。割れた瓦をトタン板で張り替え、トウモロコシ、サツマイモ、枝豆、ピーナッツなどを植え付けました。今はイチゴが大豊作。ジャガイモの収穫時は、新ジャガパーティを予定しています。(O)